

金沢市 ものづくり戦略2025

[概要版]

金沢市
令和7年3月

1 策定の目的

本市ものづくり基盤の強化とともにづくり産業の振興をめざし「金沢市ものづくり戦略 2015（改定版）」に基づき、これまで各種施策に取り組んできた。一方、少子高齢化の進展をはじめ、労働力不足や物価高騰への対応、デジタル化の急速な進展、脱炭素化への対応など、ものづくり産業を取り巻く環境は急激に変化し、対応すべき課題が多様化、高度化していることから、国や県の動向を踏まえつつ、社会経済環境の変化に対応した新たな「ものづくり戦略 2025」（以下、本戦略）を策定する。

2 対象とする産業

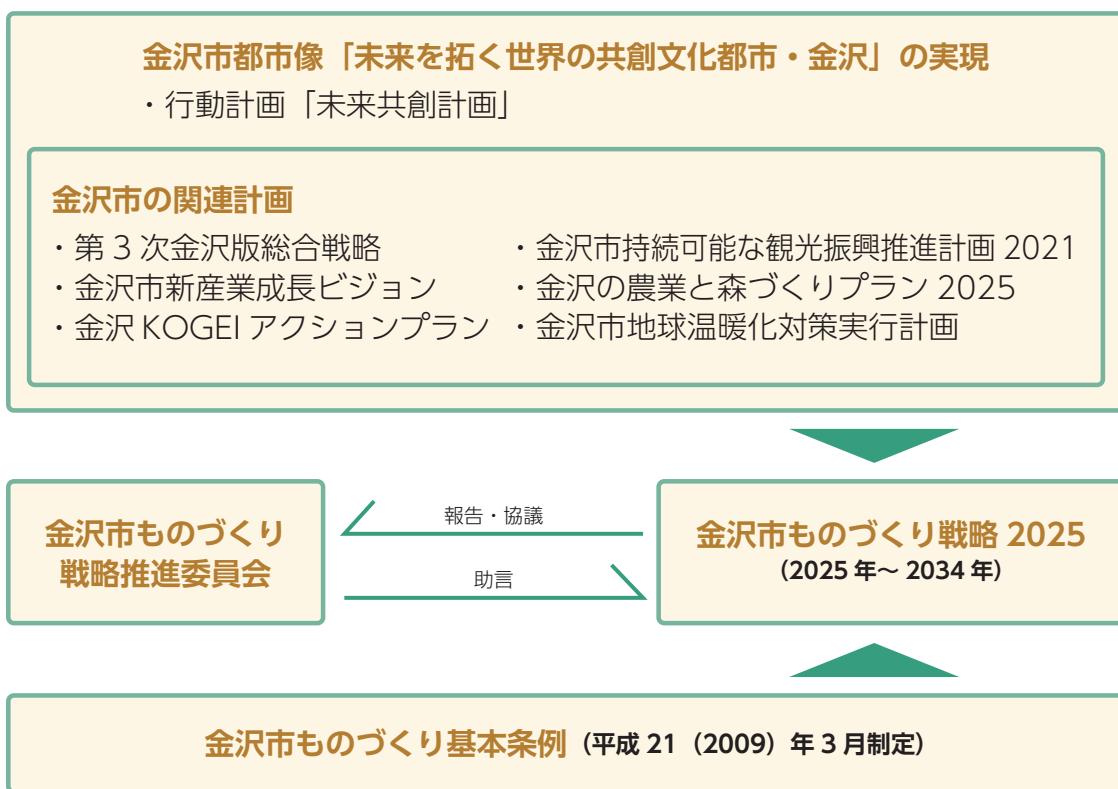
製造業、情報通信業、映像・デザイン産業

3 計画期間

令和 7（2025）年度を初年度とし、令和 16（2034）年度までの 10 年間とする。
なお、社会経済情勢の変化等に対応するため、策定後 5 年を目途に見直しを実施する。

4 金沢市ものづくり戦略2025の位置づけ

「金沢市ものづくり基本条例」を踏まえつつ、金沢市都市像である「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」とその施策を示す「未来共創計画」を反映したものとする。



5 金沢市ものづくり産業の将来像

金沢は、固有の自然、歴史、文化等に育まれたものづくりの技と心が人々の暮らしの中に溶け込んでおり、この技へのこだわりと革新的な意識が、伝統工芸、繊維、機械などの分野における個性豊かで品質の高い製品を生み出し、多彩な産業を創出してきました。また、ニッチトップ企業をはじめとする独創性をもつ企業が次々と現れ、特定の産業に過度に依存することのない多様性をもつ産業構造が形成されるなど、ものづくりのまちとしての金沢の個性をつくり、それがまちの魅力となって、まちの発展を支えています。

一方で、労働力不足や物価高騰、最低賃金の引上げへの対応など、社会経済情勢が変化しており、ものづくり産業を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのため、生産性の向上や人手不足の解消につながるデジタル化の推進をはじめ、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー技術の導入等による脱炭素化の実現、新製品・新技術の開発等による付加価値の高い新産業の創出など、地域経済の活性化を図るとともに、働き方改革を推進し、雇用の促進や人材確保に取り組むことが必要です。

また、本市の都市像である「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」においても、金沢の個性は「文化」にあると位置づけ、藩政時代より歴史に培われてきた伝統文化が、先人たちの不断の努力により連綿と継承されてきたことに加え、近年、「スポーツ」や「建築」、「木」などを価値付けし、新たな文化として市民と共に育てています。

金沢のものづくりは、「人づくり」、「まちづくり」にもつながるものであるという、ものづくり基本条例の理念を踏まえ、この「文化」という個性を将来にわたって継承するとともに、ものづくり産業にも生かしていく必要があり、今も息づく独自の文化と産業を結び付け、多様な視点や活力を取り入れた新しい価値を創造し、「ものづくり産業都市・金沢」の実現をめざします。

将来像

独自の文化と産業を結び新しい価値を創造する
「ものづくり産業都市・金沢」の実現

6 金沢市ものづくり戦略2025の基本方針と施策の方向性

基本方針 1

ものづくり産業人材の確保と育成

少子高齢化による労働力が減少する中、持続的にものづくり産業を成長させていくためには、未来を担う即戦力となる優秀な人材の確保が急務である。新規学卒者の採用強化をはじめ、中途採用、高齢者の再雇用、女性が働きやすくかつ働きがいのある職場づくりの促進、UJI ターンの受け入れサポート、若年層が金沢で暮らしたいと感じるまちづくりに努めるほか、外国人労働者の受け入れ及び定着を促進し、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組む。

また、ものづくり産業の競争力を高めるため、高度な技能と技術に精通した人材の育成を重視し、技術・技能継承への支援と教育プログラムの導入を推進し、未来に活躍する高度な専門知識と技能を有する人材を育てることをめざす。

施策の方向性 1

ものづくり人材の確保と多様な人材の活躍促進

新規学卒者の採用強化をはじめ、女性が働きやすくかつ働きがいのある職場づくりの促進や、UJI ターンの受け入れサポート、若年層が金沢で暮らしたいと感じるまちづくりに取り組むなど、多様な人材による柔軟な働き方を推奨することにより、地域産業のものづくり人材の確保と活躍促進を図る。

施策の方向性 2

ものづくり人材の育成と技能継承への支援

次世代のものづくり産業を担う子ども・若者の技能・技術の取得や、創造力などを育むことができる機会を創出するなど、後継者不足が懸念されるものづくり企業の技術・技能の継承や、職業能力開発を支援する。

基本方針 2

ものづくり産業の成長に向けた支援

受け継がれてきた熟練の技を継承し、地域資源を活用した付加価値の高い新製品や新技術の開発を支援し、ものづくり産業の持続的な成長を遂げていくための競争力の強化を推進する。

また、生産性向上や人手不足の解消をめざすため、IoT や産業用ロボット、ビッグデータなどの先端技術とともに AI の多様な活用により、製造プロセスの最適化やサプライチェーンの可視化を進め、効率的で柔軟な生産体制の構築を推進する。

さらには、企業の環境問題への対応に取り組み、再生可能エネルギーの利用や省エネルギー技術の導入など、持続可能な生産方針を採用し、地域産業の成長を支えていく。

施策の方向性 1

地域資源を活かした製品開発や熟練の技の継承・発展への支援

地域の強みである伝統工芸や地域資源を活用し、地元の企業が付加価値の高い製品や技術を生み出すことを支援する。

施策の方向性 2

デジタル化による生産性向上

IoT や産業用ロボットなどの先端技術とともに AI の多様な活用によりスマートファクトリー化を推進し、データ活用により生産性効率化をめざすとともに、産学連携による技術革新を推進する。

施策の方向性 3

脱炭素化の推進による地域産業の持続可能な成長

再生可能エネルギーの活用や省エネルギー技術の普及を促進し、企業のエネルギー消費削減を支援する。

基本方針 3

新産業の創出と新たな価値の創造

地域経済の成長と社会課題の解決に向け、企業と連携した次世代 ICT 人材育成の推進や、学都金沢に集積する大学等高等教育機関と地元企業との連携強化に取り組み、産学官の連携による付加価値の高い新産業の創出をめざす。

また、食や工芸といった金沢の特色ある文化等を活かしたスタートアップの輩出と独創的で卓越した人材の育成等により、新たな価値を創造する。

加えて、学生、若者、女性をはじめとした多様な人材を受け入れ、起業への支援など、意欲あるチャレンジを支えるほか、新たな工業団地のあり方検討やデジタル関連企業等の誘致を進めることで、金沢らしい多様な産業が生まれ、結びつき、発展していく社会の実現を図る。

施策の方向性 1

学都金沢の強みを活かした付加価値の高い新産業の創出

他都市のものづくり企業との技術交流や情報共有を図るため、ものづくりネットワークを構築するとともに、産学官連携により金沢の未来を創り上げる産業人材の育成と輩出及び企業の成長・発展につなげる。

施策の方向性 2

金沢の特色を活かした新たな価値の創造

金沢未来のまち創造館などを活用し、最先端技術による新ビジネスや食・工芸に付加価値を生み出すためのスタートアップ・新ビジネスの創出、独創的で卓越した人材の育成等に取り組み、金沢でしか生み出し得ない新たな価値の創造を図る。

施策の方向性 3

起業等への支援の充実

起業家の輩出・成長を促進する体制の強化や、起業家育成プログラムの推進に取り組むほか、起業などに挑戦する学生・若者・女性をはじめとした多様な人材への支援を充実する。

施策の方向性 4

金沢発のイノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致

新たな工業団地のあり方検討を進めるとともに、デジタル関連企業やクリエイターの誘致を強化し、多様な人材の集積、交流による新産業の創出を図る。

基本方針 4

事業基盤の強化と金沢のブランド力を活かした販路開拓

ものづくり産業の持続的な発展と高度化をめざし、生産性の効率化や専門家による経営相談体制を強化するなど、企業の競争力を高め経営力を強化する。

併せて、国際的な金沢のブランド価値をさらに高めるため、ものづくりのまちとしての個性を磨くとともに、まちの個性が受け継がれるよう事業承継の円滑化を図る。

また、製品の市場開拓・販路拡大では、見本市や展示会への出展を積極的に支援し、企業の製品や技術を国内外に広く発信するとともに、ビジネスマッチング機会を創出し、都市部や海外市場への進出を促進する。

施策の方向性 1

まちの個性が受け継がれる事業承継の促進と経営基盤の強化

事業所数の減少や経営者の高齢化など、後継者不足の実態やニーズに即して、事業承継を促進するとともに、経営基盤の強化に向けて、生産性向上のための設備投資を支援する。

施策の方向性 2

金沢のものづくりの魅力発信の強化やブランド力の向上

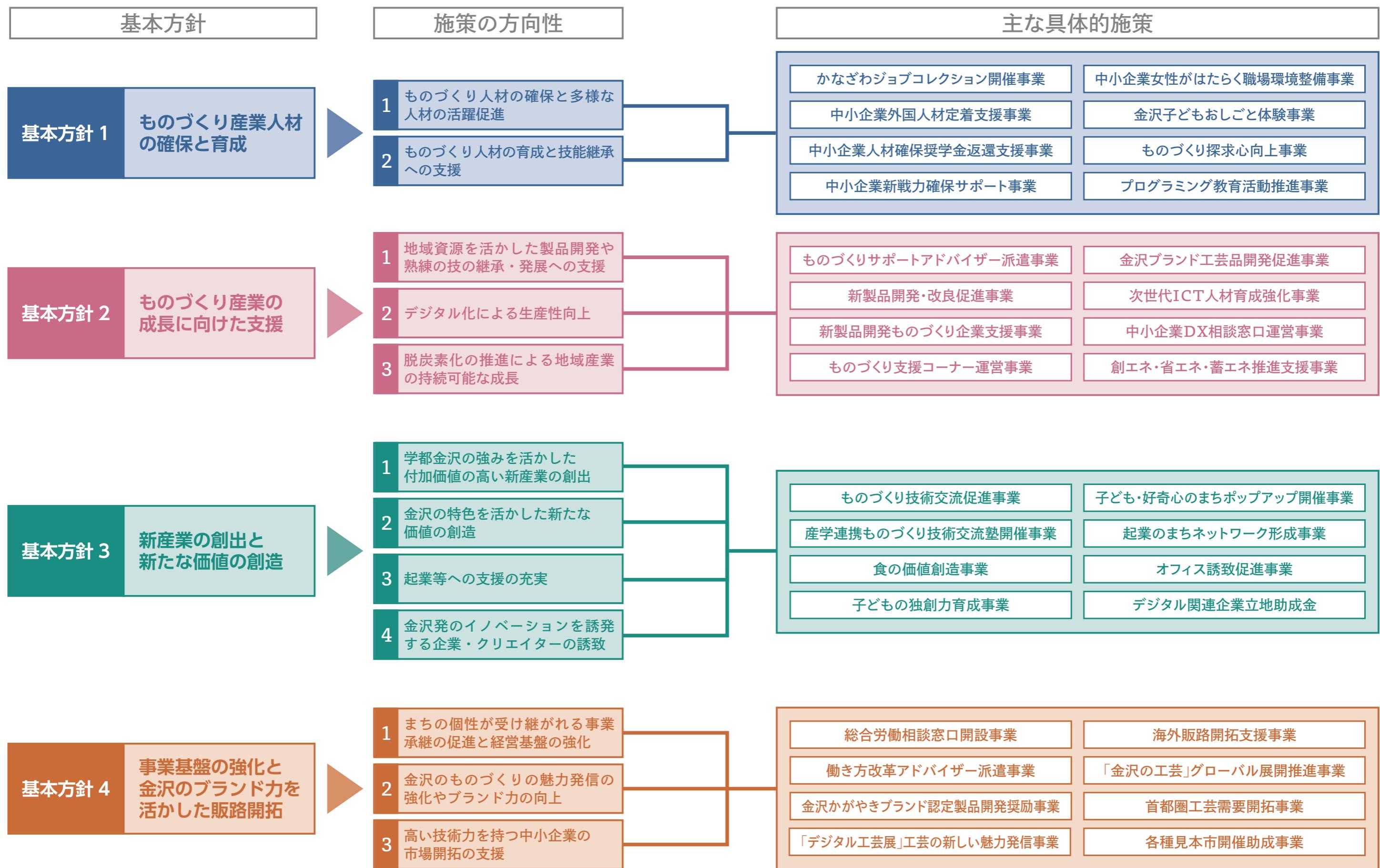
金沢のものづくりは、藩政期から伝わる伝統工芸から新たな産業まで、魅力にあふれており、首都圏・海外市場等に広く発信し、より一層ブランド価値を高めることをめざす。

施策の方向性 3

高い技術力を持つ中小企業の市場開拓の支援

ニッセイトップ企業をはじめとする金沢の中小企業による展示会への出展を支援し、世界を意識した戦略的な市場開拓に取り組む。

7 金沢市ものづくり戦略2025 体系図



8 推進体制

将来像の実現に向けては、本市のみならず、企業・関係機関が、それぞれの責務を果たしながら相互に連携していくことが必要である。今後とも企業を取り巻く環境やニーズの的確な把握に努めるとともに、地域経済を支える企業に対し、国・県や中小企業基盤整備機構などの支援機関、金融機関等とも連携して支援していく。

また、高等教育機関の集積を活かし、産学連携による新製品開発を促進するほか、学校や地域と連携し、ものづくりの大切さについて理解と関心を深めるとともに、新たな価値の創造に挑戦する機運を醸成していく。

9 金沢市ものづくりサポート拠点

金沢市異業種研修会館



〒920-0377 金沢市打木町東1400番地
TEL 076-240-1934 FAX 076-240-1903

金沢市ものづくり会館



〒920-0226 金沢市栗崎町4丁目80番地1
TEL 076-255-1518 FAX 076-255-1519

ITビジネスプラザ武蔵



〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
TEL 076-224-6340 FAX 076-224-8788

金沢未来のまち創造館



〒921-8031 金沢市野町3丁目11-1
TEL 076-280-3115 FAX 076-280-3116

お問い合わせ

金沢市経済局商工労働課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号／Tel 076-220-2193／Fax 076-260-7191／e-mail syoukou@city.kanazawa.lg.jp